

ARAI NEWS

もしバイクでコケた時に、帽体に薄い部分があったり、規格外の下側が薄くなっていたらどうなるだろう？。走行中に巻き込み風や風切り音が気にならないだろうか？。このヘルメットをかぶって鏡に写したときに鏡像に見えるだろうか？。アライでは、誰でもそんな心配りをしながらヘルメット造りに取り組んでいます。アライは安心をカタチに変える企業です。安心をカタチに変えるとは、お客様の代わりにあれこれ心配して、不安の種をなくして差し上げることです。例えば、お客様の目には見えない安全性については、スネル表示を

安心をカタチに変える仕事

しているモデルにおいてすら、より厳しい規格を独自に設定し、安全性には規格以上に充分な余裕を持った設計をしています。また性能上影響の大きい帽体の厚みでは、世界でも例を見ない全数2度検査を課すなど、お客様が確かめられない箇所は、特に万全の心配りをしています。見えないところにこだわり、世界でも比類なき安全なヘルメットをつくることにやりがいが生まれるのです。アライではこんな安心をカタチに変える仕事に参加していただける製造スタッフを求めています。

F-1レーサーに買って使って買えるようなヘルメットをつくりたい。そんな夢を描いたのは20年以上前の事です。F-1レーサーはもとより、レーサーというだけで雲の上の存在だと感じていた頃、アプローチの方法すらわからない手探りの状態から始まったものでした。今では、F-1レーサー35名の内、過半数を超える22名がアライを気に入って使用しています。夢は不可能の壁の向こう側にあるものとアライでは考えています。もうやり過ぎてしまったことや、誰かが成し得た事を追いかける事は、アライでは夢とはいいません。アライは、常に他人から見れば、なにを不可能な事を言っているんだと感じるよう

夢を実現する仕事

な夢を追いかけています。世界中のヘルメット規格の指針を作りたという夢がアライ規格となり、衣服の様に常に清潔でいらねばという夢がアドシスやシステムパッドを生みだしました。もちろん現在も夢を追い続けています。その全てはお話しできません。ただ、現在ヨーロッパやアメリカなど先進各国でもアライは使われていますが、使っていただける国の人々の手でも作れるようにならないかと、漠然と考えています。そしてそんな夢を共有してくれるスタッフを求めています。



ホルダーでシールドを押さえ、ワンタッチで開閉できるシステムは、今では世界中のヘルメットメーカーで採用されていますが、これは10年前にアライがオムニで世界に先駆けて発表したシステムです。シールドを簡単に着脱できるシステムも、相次いで発表されていますが、アライでは3年前に世界で初めてアドシスを発表しています。このアドシスの完成度の高さは、多くのメーカーから次々と発表されているものと比較していただいても良くわかるでしょう。これらは作り

アイデアをカタチにする仕事

手でもあり、ライダーでもあるアライのスタッフがバイクに跨がって感じとった必要性を製品化したものです。お客様に代わって心配したり、必要なものを見つけだすアイデアは大切なものです。そしてもっと必要なのは、アイデアをカタチにする情熱です。製品化するためには様々な苦難、困難が待ち受けています。頭を働かせるだけでなく、身体ごと当たり、アイデアをカタチにするまで、責任を持って成し遂げていただけるような開発スタッフを求めています。

未来に夢をかけるスタッフ(製造、企画、開発)を募集しています。

アライで働いてみたい方は履歴書(写真貼付)、職務経歴書、仕事に望むこと(書式自由)を弊社人事部長宛まで郵送してください。



職種/ヘルメット製造、企画、開発 待遇/当社規定による 勤務地/大宮
書類郵送先/〒330 埼玉県大宮市東町2-12 株アライヘルメット 人事部長宛
問い合わせTEL (048) 641-3825 アライヘルメット 人事部 木村、清水まで